

フェイクニュースや偽情報等に対する取組についての フォローアップに関する主な視点

2021年3月30日

事 務 局

○ 令和2年2月に公表した「プラットフォームサービスに関する研究会 最終報告書」における「我が国におけるフェイクニュースや偽情報への対応の在り方」を参考に、フォローアップを行う際の主な視点について、以下のとおり整理。

1. 自主的スキームの尊重

・偽情報への対応の在り方の基本的な方向性としては、引き続き、プラットフォーム事業者を始めとする民間部門における関係者による自主的な取組を基本とした対策を進めていくことでよいか

2. 我が国における実態の把握

- ・我が国における偽情報の流通状況の実態が適切に把握されているか
- ・具体的にどのような情報を把握すれば偽情報の流通状況を明らかにすることが可能か
- ・プラットフォーム事業者による研究者への情報を提供などの協力は十分か
- ・プラットフォーム事業者による自らのサービスにおける偽情報の実態把握は十分か

3. 多様なステークホルダーによる協力関係の構築

- ・多様なステークホルダーによる多面的な議論が行われているか
- ・プラットフォーム事業者、ファクトチェック機関、メディアなど関係者間の協力が進んでいるか

4. プラットフォーム事業者による適切な対応及び透明性・アカウントビリティの確保

- ・プラットフォーム事業者の削除等の取組が適切に行われているかどうかについて、透明性・アカウントビリティの確保が図られているか。
- ・過剰な削除や不当なアカウント停止等の行き過ぎた対応が行われていないかという点が明らかにされているか
- ・特に、海外事業者において、諸外国で行われている取組は日本でも行われているか
- ・AIによる対応に関して、アルゴリズムの透明性等が図られているか
- ・具体的に、プラットフォーム事業者に対してどのような対応や情報公開を求めることにより、偽情報への適切な対応が図られているかどうかを評価することが可能か

5. 利用者情報を活用した情報配信への対応

- ・利用者情報を活用した情報配信（ターゲティング広告等）について、一般的なターゲティング広告と政治広告等との違いを認識しつつ、透明性・アカウントビリティの確保が図られているか

6. ファクトチェックの推進

- ・ファクトチェックの活性化のための環境整備が進められているか
- ・ファクトチェック機関とプラットフォーム事業者の連携が進められているか

7. ICTリテラシー向上の推進

- ・政府・各事業者・事業者団体等におけるICTリテラシー向上の推進に向けた活動は十分か
- ・既存のICTリテラシー向上の取組に係る整理や様々な主体の連携促進が行われているか
- ・偽情報に対抗するICTリテラシーとはどのようなものか
- ・偽情報に対抗するICTリテラシーの向上の推進に向けて、今後どのような取組が必要か

8. 研究開発の推進

- ・プラットフォーム事業者は、コンテンツモデレーションに関して、AIを活用した技術について研究開発を推進しているか
- ・ディープフェイクなどの新たな技術による偽情報に対抗する技術に関する研究が進められているか

9. 情報発信者側における信頼性確保方策の検討

- ・インターネット上におけるメディア全体の情報の信頼性の確保方策について、メディアやプラットフォーム事業者等の関係者間で検討が進められているか

10. 国際的な対話の深化

- ・偽情報への対応に関して、国際的な対話が深められているか